

令和6年3月7日(木)

「自分の一歩」

今日は、宮澤章二さんの詩集「行為の意味 青春前後のきみたちに」の詩を紹介します。

いま わたしの踏みしめる一歩は
だれか他の人の一歩ではない
わたしの足が地上に刻む一歩は
いつでも わたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先に行くからといって
他の人より優れているとは限らない
他の人より一歩後を歩くからといって
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩きだしたのだから
自分の一歩をしっかりと信じて進もう
…その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には〈人生〉など まだない
到着点にこそ わが〈人生〉はあるのだ
歩きつづけ生きぬいた尊い証明として